

○ 政務活動(行政視察・研修)報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	市民クラブ 増山裕司、中道博武、飯澤明彦
視察・研修名	「企業誘致の取組み」について
視察・研修の 目 的	取組みの経過について 事業効果について等
日 時	平成30年8月9日 (木) 14:30 から 16:30
視察研修の 概 要	<p>視察先 : 和歌山県 橋本市議会 経済推進部 企業誘致室</p> <p>・辻本 勉 橋本市議会副議長 ・福井直記 議会事務局次長 ・宮田典和 企業誘致室長 ・阪本敏一 企業誘致室副主幹</p> <p>①取組みの経過について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度より「職住近接のまちづくり」を目指す ⇒ 雇用の場創出 ⇒ 企業誘致 ・県や金融機関等との連携及びアンケート調査で企業情報収集 ⇒ 企業訪問実施 * 南海電鉄遊休地の活用 * 市長のトップセールス * 職員を特化しなければ厳しい * とにかく足を運ぶ → 熱意 * 調査・リサーチ * 交通アクセス、低廉な価格 * 充実した奨励金・税優遇 * 行政手続きのサポート <p>②企業訪問日数等の事業効果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H17年からH29年度で、延べ 3,000件以上の企業を訪問 ⇒ 進出42社 ・税収効果(累積) ⇒ 固定資産税 5億8千万円、法人市民税 1億7千万円 <p>③地場産業関連企業の誘致等と地元企業との関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業関連企業の進出 ・進出企業の維持管理、物流、修繕等を地元企業を活用 <p>④企業進出に伴う地元雇用の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の6割が地元雇用となっている ・市外従業員も地元に住居するケースもあり、いずれは地元にとの従業員あり <p>⑤今後の課題や新たな取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地の不足 ⇒ 新工業団地の開発 ・従業員不足 ⇒ 求人説明会、地元高校教諭との連携

○ 政務活動(行政視察・研修)報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	市民クラブ 増山裕司、中道博武、飯澤明彦
視察・研修名	「リノベーションまちづくり事業」について
視察・研修の 目的	取り組みに至ったきっかけと策定経緯について 及び事業成果・課題等について
日時	平成30年8月10日(金) 10:00 から 15:00
視察研修の 概要	<p>視察先：和歌山市議会 和歌山市 都市計画部 都市再生課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松井紀博 和歌山市議会議長 ・尼岡大芳 都市再生課長 ・榎本和弘 都市再生課 リノベーション推進専門員 ・吉川誠人 紀州まちづくり舎 代表 <p>① 取り組みに至ったきっかけと策定経緯について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地は50年で人口が半減 ・H19～中心市街地活性化基本計画で事業計画策定 ⇒ 活性化に至らず ・街中商業販売額 ⇒ 23年間で6割以上の減少 ⇒ 空き店舗率30%以上 ・ぶらくり横丁の路線価はピーク時の 1/10 ・学校統合 × 大学誘致 × 公共施設再編 × 市街地再開発 × リノベーション <p>② 推進体制と人材づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休不動産の再利用(不動産オーナーの理解) ・民間主導の公民連携 ・遊休不動産の提供 ⇔ 家守会社(補助金に頼らない) ⇔ 複数の事業オーナー ・リノベーションスクール ⇒ 担い手育成 ⇒ ネットワークづくり ⇒ 事業化 ・家守会社の設立(9法人) ⇒ 和歌山市認定 <p>③ 事業の成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクール対象事業化 7件 ・家守会社等事業 10件 ・関連イベント 3件 ・波及 ⇒ ポポロハスマーケット(集客1万人)、ビールフェス、道路河川イベント <p>④ 今後の課題等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リノベーション推進指針 ⇒ {質の高い教育機会、子育て環境、雇用創出、産業振興} × 空間資源活用 ・住民主体のまちづくり ・民間まちづくり 賑わい創出